

はあとのあと

“心を綴ったノート” “心が奏でる音”

2009(2)

第 14 号



病院理念

“市民の心の支えとなる、地域の中核病院に”

1. 疾病の予防から在宅医療までの一環した体制の確立を目指します。
1. 安心と信頼の地域医療を目指します。
1. いたわりの心で皆様の健康と命を守ります。

目次

- | | |
|---------------------------|---|
| ・新年度を迎えて | 1 |
| ・眼科と精神科の外来診療日が変更になりました | |
| ・足首のねんざ | 2 |
| ・看護師・准看護師さん “お待ちしております～ず” | |
| ・4月からのニューフェイス | 3 |
| ・第34回石川県医学検査学会を終えて | |
| ・市民の安心を支える医療提供をめざして | 4 |
| ～珠洲市総合病院改革プラン～ | |

新年度を迎えて

病院長 正司 政夫



三寒四温の不順な時期から、ようやく春の息吹が感じられる時節になりました。日頃より多くの皆様からたゆまぬご厚情を頂き感謝を申し上げます。

さて、当院では旧年度より新年度に向けた多くの問題に取り組み、対策を講じてきました。最重要課題は、平成19年度より常勤医師が漸減し、看護師の採用数も退職者の補充にも事欠くという、**医師、看護師不足の問題**です。市民の病院として役目を果たすにはどうしても相応のスタッフが必要で、これ以上に不足すれば、診療は勿論、病院経営をも大きく圧迫する事態になるからです。医師の派遣確保を目指して、市、病院関係者が一体となって大学病院、県当局やその他の医療関係者の方に協力をお願いし続けてきましたが、医師不足の壁は厳しくかつ困難なものでした。

結局は努力にも拘わらず十分なスタッフを確保できませんでしたが、最悪の事態はかろうじて回避でき嬉しく思っています。この過程の中で、珠洲の医療の実態についても関係者に理解されたと思われ、来年度の医師派遣がよい結果になるよう祈るものです。

また、近隣の病院および地元の開業医の先生方には、機能分担や連携の一段の強化をお願いし、市民の方の負担が極力軽減されるように努力しているところです。苦難の道でしたが、この4月から何とか院内の診療体制を構築できたのは、ひとえに大学病院や開業医の先生方のご理解、ご尽力によるもので、改めてお礼申し上げます次第です。

さらに特記すべきことは、現在勤務しているスタッフが疲弊しないように、職場環境や待遇の改善に十分な配慮が必要なことです。スタッフの不足が残った同僚の負担を助長して労働環境が一層悪化する結果、貴重な戦力が職を辞することも少なくないからです。

皆様もご存じの如く今日の公立病院の経営は厳しく各地で医療崩壊が起っています。当院も同様にいばらの道を歩んでおり経費の節減、医療資源の効率利用などに迫られていますが、市民の健康、福祉を守るには、市民の方に相応のご負担をお願いせざるを得ない状況であります。当分の間は医療サービスに若干の支障をきたすと推測しておりますが、職員一丸となって病院の存続に向け頑張る覚悟です。皆様の暖かいご支援とご協力を切にお願い致します。

眼科と精神科の外来診療日が変更になりました

平成16年4月から始まった医師臨床研修制度などの影響で、地方の病院では医師不足が深刻化しています。

当院でも医師確保に努力しておりますが、4月から**眼科の常勤医師がいなくなり**、外来診療日が**週2回**になっております。

ご迷惑をお掛けしておりますがどうぞご了承下さい。

なお、精神科は4月から週2回の診療に増えております。

診療科	外来診療日	受付時間	診療時間
眼科	水・金曜日	水曜日 正午から午後3時まで	水曜日 午後2時から
		金曜日 正午から午後3時30分まで	金曜日 午後2時から
精神科	水・金曜日	午前7時30分から 午前11時30分まで	午前7時30分から

足首のねんざ

整形外科医長 瀬川 武司



足首のねんざについて、一般的なお話をいたします。

足首（足関節）は、運動の際に体の全体重を支える部位にあり、スポーツや歩行によって損傷することの多い関節です。足首をねんざした時、多くの場合は腫れと痛みを訴えて病院を受診されることとなりますが、糖尿病などにより神経障害がある方では、痛みを伴わない場合もあります。受診すると、まず両足首のレントゲンを撮り、骨折や脱臼の有無を確認します。両方を撮るのは、痛くない側との比較のためです。

足関節は脛骨（けいこつ）、腓骨（ひこつ）、距骨（きょこつ）の三つの骨により形成されています。それぞれの骨は強靱な靭帯および関節包により連結し、足関節の安定を保っています。数本の靭帯のうちで、重要かつ損傷しやすい靭帯は内くるぶしの靭帯（足を外側にひねることで損傷する）と、外くるぶしの靭帯（足を内側にひねることで損傷する）です。ねんざが強い場合には**靭帯損傷と剥離（はくり）骨折**が合併することがあります。



剥離骨折とは、靭帯や関節包が骨に付着する部分にストレスがかかり、骨の表面が剥がれる状態の骨折であり、一般に靭帯損傷を合併します。靭帯が損傷したまま放置されると関節は不安定となり、足関節のゆるみやぐらつきが持続すると、将来関節の変形や痛みの原因になる可能性があります。すなわち剥離骨折、靭帯損傷の治療の目的は、足関節の安定性の再獲得です。

剥離骨折の程度が軽い場合は、経過観察により徐々に軽快します。骨折の程度が強くとぐらつきが重度の場合は、手術が検討されます。骨折の程度、足関節の不安定性の程度は、ストレス撮影（足首に力を加えてレントゲンを撮る）により診断されます。

不安定性の程度に応じて、サポーターを装着することもありますし、痛みを和らげるためには、湿布、内服薬などの消炎鎮痛薬を使用します。サポーターを着けることにより、足関節を内・外側にひねる動きはある程度制限され、損傷部位にかかる負担が減る効果が期待できます。

これからの季節は、農作業やスポーツなどによる受傷の増加が予想されます。足をひねって腫れや痛みがひどい場合は、整形外科外来を受診してください。

看護師・准看護師さん “お待ちしております”

4月から当院では、通常の正規職員の募集とは別に**通年で看護師・准看護師を募集**することになりました。

1. 臨時職員の募集

看護師・准看護師は臨時職員として、年間を通して随時募集します。

2. 臨時職員から正規職員への転換

年度途中で臨時職員として雇用した看護師・准看護師で、勤務状態が優秀な方については、正規

職員として採用いたします。

（※ただし、正規採用時点での年齢が45歳以下の方に限ります。）

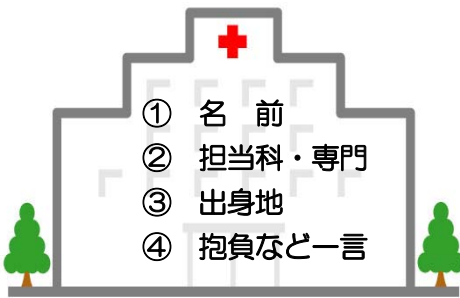
3. お問い合わせ・ご連絡先

ご関心のある方は、総看護師長がお話を伺いますので、お気軽に相談ください。

TEL 0768-82-1181（代）

4月からのニューフェイス

4月からの医師5名を紹介します。



① ささき まこと 佐々木 誠

② 内科

③ 富山県

④ 外科、リハビリが専門ですが、珠洲では内科を含め総合臨床の面でお手伝いしたいと思っております。年寄りですががんばります。



① おしま えいすけ 尾島 英介

② 外科

③ 千葉県

④ まだ未熟ですが、精一杯がんばりますのでよろしくお願い致します。釣りを始めようと思ひ、道具を持ってきました。誰かご指導ください。



① みやした けんご 宮下 健悟

② 小児科

③ 白山市

④ 初めての一人医長で緊張しています。不束者ですが、よろしくお願い致します。



① にしかわ しんご 西川 晋吾

② 内科
呼吸器

③ 白山市

④ 皆さんが安心して暮らせませう様、微力ですががんばりますのでよろしくお願い致します。

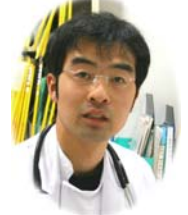


① つじ くにひろ 辻 国広

② 内科
消化器

③ 加賀市

④ よろしくお願ひします。内視鏡など希望される方は、病院に受診していただければ幸いです。



第34回石川県医学検査学会を終えて

検査室 正司 美枝子

3月20日(金)珠洲市商工会議所2階大ホールにて第34回石川県医学検査学会が石川県臨床衛生検査技師会主催で開催されました。

この学会は加賀地区、金沢地区、能登地区の臨床検査技師が輪番で開催を担当していますが、今回は能登半島地震災害復興支援の心遣いで初めて奥能登で開催されました。もともと若手技師や新人技師が気軽に演題発表し、全国学会など大きな研究発表の足がかりにできる場として開催されるようになったのですが、年々内容がグレードアップしこの中からはいろいろな賞を受けた演題も出ております。



今学会では26題の演題発表があり、191名の臨床検査技師会の会員・賛助会員、そして午後から併催された公開講座には70余名の市民の参加がありました。

糖尿病教育セミナーの技術講演では、当院の専任技師が検査技師の立場からとして「**珠洲市総合病院の糖尿病予防教室の取り組み**」の様子を発表しました。



県外参加者5名を含む宿泊者が見附島沖から昇る朝日を絶賛して、「**遠かったけど学会に参加してよかった**」と言う声を聞き、学会を引き受けてよかったと嬉しく思いました。当院の検査技師達は日々の業務をこなしながら学会準備に取り組みました。

公開講演に参加して下さった市民の皆様には感謝いたします。

市民の安心を支える医療の提供をめざして ～珠洲市総合病院改革プラン～

「公立〇〇病院が閉院」 近頃、新聞・テレビで信じられないような記事が目につくようになってきました。

増大する医療費を削減するため、国では平成14年度以降、診療報酬を連続して引き下げています。その結果、全国の8割以上の公立病院が赤字経営に陥っています。また、新たな臨床研修制度など、様々な状況変化を受けて、地方の病院に勤務する医師の不足が大きな社会問題となり、幾つもの公立病院が診療科の減少、病棟閉鎖、閉院を余儀なくされているのです。

当院においても、多くの公立病院と同じく、近年、経営状況が悪化するとともに、医師不足に伴い診療体制に支障を来すなど、その経営環境は悪化し、医療提供体制の維持が極めて厳しい状況になってまいりました。

従来どおりの病院運営を行っていたのでは、当院の存続も危ういものとなり、地域の医療が崩壊してしまうこととなります。当院が今後とも地域において必要な医療を安定的かつ継続的に提供していくためには、抜本的な改革が必要となり、平成19年度から2カ年をかけて、**珠洲市総合病院改革プラン**を策定し、病院改革に取り組んでいます。

能登北部医療圏の4自治体病院の医師数

病 院 名	常勤医師数			へき地医療拠点病院
	平成15年度	平成20年度	差引	
市立輪島病院	17人	14人	△3人	○
珠洲市総合病院	17人	14人	△3人	○
公立宇出津総合病院	14人	12人	△2人	
公立穴水総合病院	15人	12人	△3人	○
計	63人	52人	△11人	

「改革プラン」では、次の3つの視点から検討を行なっています。

①経営効率化の視点

医療スタッフの確保や提供サービスの検討を行ないながら、職員の意識改革、徹底した経費の削減、一般会計負担の適正化等を行うことにより、平成23年度での経常収支の黒字化を目指します。

②再編・ネットワーク化の視点

限られた人的・物的資源を効率よく有効に活用するため、他の医療機関等との機能分担や医師の相互派遣、連携を図りながらネットワークの強化を図ります。

③経営形態の見直しの視点

民間企業の経営手法などを参考に、当面は地方公営企業法全部適用^{※1}を見据えながら、どういった経営形態が珠洲市にとって適切なのかを検討します。

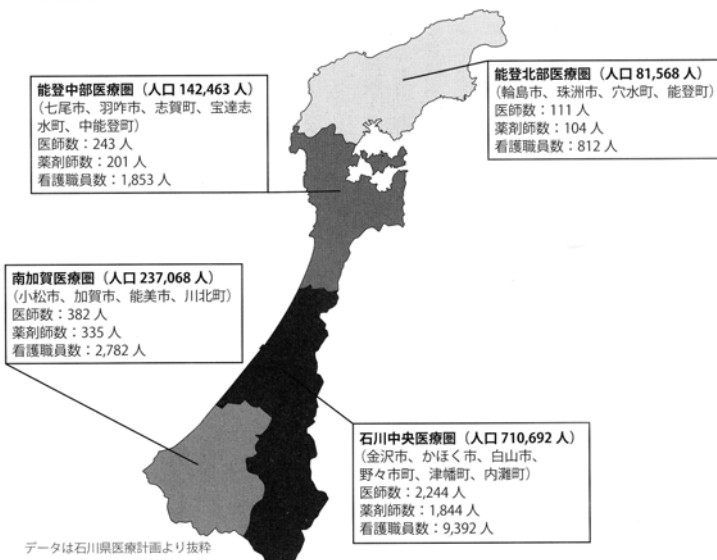
この改革プランは、当院にとって非常に高いハードルであり、経営環境が厳しさを増す中、計画目標を達成することは容易ではありません。しかし、何とか**地域の医療を守り続ける**ために、医師・看護師をはじめ、全職員が一丸となって取り組んでまいります。

地域の皆様におかれましても、何卒、ご理解とご支援をお願いいたします。

※1 地方公営企業法

自治体が経営する企業組織や財務、職員の身分を定めた法律。全部適用にすると、首長から4年を任期とする事業管理者に、予算や人事権など多くの権限が委譲される。独立した企業体として主体的で柔軟な経営が可能となり、経営責任も明確になる。職員は公務員のみだが、事業管理者の権限で給与を増減できる。

病院事業は採算性が低い財務に限り適用が認められているが、近年経営改善のため全部適用する自治体が増えている。



お知らせ

・1月より会計システムが変更になりました。

診察券を機械（POS レジ）に読み込ませ精算するシステムです。会計窓口に**診察券入れ**を設置しましたので**診察券**を投入しお待ちください。

なお、診察券をお忘れの際はお気軽に会計窓口スタッフにお声をかけてください。



・中央採血室のご案内

平成21年4月1日から各科外来の**午前の採血**は**中央採血室[13]番**で行なっております。

採血される方は、各科の処置室でファイルを受け取られてから中央採血室[13]番へお越しください。

検尿も必要な方は、中央採血室[13]番で尿コップをお渡しします。

なお、午後の採血は各科外来で行ないます。



外来診療日程

平成21年4月6日現在

午前 受付時間 7:30~11:30 診療時間 9:00~12:30

診療科	月	火	水	木	金	
内科	1 診	波佐谷			循環器	波佐谷
	2 診	原	西川	辻	原	西川
	3 診	西川	辻	原	西川	辻
外科	坂本	尾島	坂本	正司	正司	
呼吸器外科					小田ほか	
小児科	宮下					
耳鼻咽喉科	八木	榎田				
整形外科	羽藤・瀬川					
産婦人科	山城					
脳神経外科	浜田	玉瀬/木下		浜田		
泌尿器科	月曜日診療（月曜日が休日の場合、火曜日診療） 成本/川口/泉/栗林					
皮膚科	永岡		永岡	越後		
精神科			廣澤		西村	

午後 受付時間 12:00~16:00 診療時間 14:00~17:00

診療科	月	火	水	木	金	
内科	1 診	佐々木	原	佐々木	辻	佐々木 (第1・3・5週)
	3 診	内分泌 (第1・3・5週)			循環器 (第2・4週)	
小児科	三種混合	慢性疾患	健診・予防接種			
耳鼻咽喉科	榎田		榎田			
眼科			辻屋 受付 15:00まで	馬渡 受付 15:30まで		
産婦人科	産後2週間健診		健康診断	産後2週間健診		

編集後記

医師の数で言うと最近では最も少ない人数となってしまいましたが、辛うじて新年度の体制が整いました。一時は広報誌発行どころではないとまで追い詰められていたので、今はほっとしています。これからも市民の皆さんに、理解と応援をいただけるよう広報活動をしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。(浜田)

小児科

- (月) 三種混合 15:00~15:30
- (火) 慢性疾患 14:00~16:00
- (水) 健康診断 14:00~
- 予防接種 15:00~

産婦人科

- (火)(金) 産後2週間健診 14:00~
- (水) 健康診断 13:30~

その他

- (水) 糖尿病予防教室 14:00~15:00
- (月)~(金) 医療相談

※救急患者は、表示時間に関係なく診療いたします。

※表示日程は都合により、一部変更になる場合があります。

※午後の新患は、できるだけ15:00までに受付をお願いします。

